

・顕現後第二主日

# 泉のほとり

## 思い煩いからの解放



今月の詩編 「第二十九編」

神の子らよ、主に帰せよ  
御名の榮光を主に帰せよ  
榮光と力を主に帰せよ

聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。

「思い悩むな」と主イエスが命じられたのは、わたしが神に仕えていると思いながら富に仕えてしまうことがあるからです。その原因が思い悩みにあると主は見抜かれたのです。

企業を経営する人は、いつでも利益を出すことは、貢賛されますが。しかし思い悩みに捕らわれると、お金が身を乗り出します。しかしそうしたときに「お前にはわたしが必要だろ」と言つてくるのです。その声に負けて、結局はお金が必要だと考えたとき、わたしたちはお金に仕えるものになります。教会の財政を考えるときにも、この誘惑があることを忘れてはなりません。

そのため主は「何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようか」と思い悩むと言われます。衣食は生活の基本です。それが満たされなければ人間らしい生き方はできません。だからこそそれが誘惑になります。だからこのふたつのことで思い悩むことを主は禁じられるのですが、わたしたちは容易に納得しません。

そういうわたしたちに主は「空の鳥をよく見なさい」と言われます。鳥の生活がどのようにして成り立っているかを、よく観察しなさい。そうすれば天の父が彼らを養つておられることがわかるだろう、と言われるのです。もちろんわたしたちが鳥と同じように神を任せで生きていればよいとは、主は言われません。わたしたちは時くこ

とも刈ることも倉に取り入れることも必要です。でも蔵くことと刈ることの間にあること、蔵いた種が芽を出し、成長して実を結ぶことに、わたしたちは手を出せません。自然現象として当然だと考えているそのことによつて、わたしたちの生活は支えられているので

明日のこととは、自分の手の及ばないことです。今日はことは手が及びます。そこでは十分に苦労します。しかし手の及ばないことは思い悩まない。そこは天の父にお任せする。それが鳥が教えてくれる生き方です。

わたしたちは自分の力でできることとできないことを峻別しなければなりません。自分の寿命を伸ばすこととが、わたしたちにはできません。自分がいつ、どのような形で死ぬのか。その一番大切なことを、わたしたちは神さまの手に委ねています。

「思い煩いは何もかも神にお任せしなさい。神があなたがたを心にかけてくださるからです」と使徒ペトロは言います。生活の心配は親の仕事であつて、子どものすることではありません。それと同じように、自分の手の届かないことは、神さまが責任を負われるのです。わたしたちのすることではありません。神さまの子どもであることに徹すること、それが思い悩みから解放される道なのです。

# 『詩篇119編を読む』

## 《今日のお知らせ》

2023年度

### 教 会全体課題

協会共同訳 サメク（ヘブライ語の第13番目の  
アルファベット名称—この

日々聖書に聴き、

御言葉に従つて歩む。

イ語聖書でサメクから始まつ  
ている。）

113節～120節はヘブラ

- 三月三一日のイースター礼拝で受洗・転入会を行います。  
希望の方は、一月二八日迄に牧師宛願書をご提出ください。願書は事務所にあります。
- 一月二六日（金）一〇時三〇分～一二時シオンの会をオンラインで行います。
- 二月二八日（日）午後二時～五分より定例役員会を地下ホールで行います。役員の方はご出席ください。

2023年度

### 心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない靈の乳を慕い求めなさい。これを飲んで成長し、救われるようになるためです。

（ペテロの手紙一 2章2節）

- 一月二二日（金）二二時シオンの会をオンラインで行います。
- 一月二四日（日）あなたは私の隠れ場、私の盾。あなたの言葉を待ち望みます。
- 一月二五日（月）私はわが神の戒めに従います。
- 一月二六日（火）私が生きていけるようにあなたの仰せに従つて私を支えてください。自分の望みについて
- 一月二七日（水）私が恥じ入ることがないようにしてください。
- 一月二八日（木）私を支えてください
- 一月二九日（金）私が救われ常にあなたの掟を見つめることができるように。
- 一月二九日（土）あなたはことごとく拒みました。彼らの考えることは偽りだからです。
- 一月二九日（日）あなたたはこの地の惡しき者どもをことごとく排斥して取り除きました。それゆえ、あなたの定めを愛します。
- 二月二二日（月）あなたたを恐れて身は震えます。
- 二月二三日（火）あなたの裁きを畏れ敬います。

### 《今後の予定》

- 二月二二日 教会研修会
- 二月二三日 淋として取り除きました。
- 二月二四日 信仰者に学ぶ会
- 二月二九日 役員候補者推薦

## 『四国便り』

「開拓20周年を迎えて」（その7）  
ホームズ邸ではすべてがハレルヤ！

貴族の館でのスケジュールを終えて、翌日からはロンドン郊外スイドンの町にある恵子ホームズ邸に移動。信仰と希望と愛のひかりの中に導き出され、わたしたちはその実践を学ぶことになりました。

思えば、過去の不幸な戦争により日本軍の捕虜となり、捕虜収容所での悲惨で呪わしい日々から生還した英國兵士の方々は、恨みと怨念をこめて、そのことを次世代に語り継いできました。その故に日本と日本人を極端に嫌つて生きた英国人の中に、癒しと和解の福音を持って彼らの元へゆくようにと、恵子ホームズさんは神さまから特別な使命を与えられ、彼女は直ちに従い、一人で立ち上がったのです。

今では沢山の同志の方々に支えられて、活動は世界に広がっております。私もいまではその素晴らしい活動の小さな証人とさせていただきました。

そんなある日ホームズ邸に、お証しのために数人の方々が来られました。その中に、英國育ちの50歳位の美しい女性があり、その方が私の右隣りに座りました。ここから主の奇跡の歯車はゆっくりと動きはじめたのでした！ 右隣りに座つたその人はクレア夫人でした。そのクレア夫人に私を紹介する優しい声が聞こえました。：パスター牧師タバタ：その瞬間、クレア夫人がじつと私を見つめて、「おお！」と感動の声を発しました。そして次の瞬間、私の右手をしっかりと握りしめたまま、「自分の心の奥

にある思いを注ぎ出すかのように話し始めていました。ふと見ると目には涙が光つておりました。この時には私の両方の手をしつかりと握りしめていました。私はまだ一言も話していないのに：

聖書　マタイ5章43～48節  
説教者　吉村和雄　名譽牧師  
「正しい者にも正しくない者にも」

## 『次週の礼拝』

● 子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教　「自分の大切さを知る」

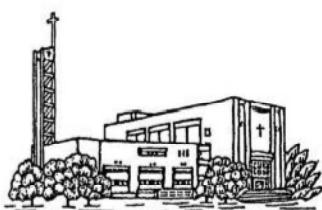
聖書　マタイ6章25～34節  
説教者　吉村和雄　名譽牧師

● 主日礼拝（午前10時30分）

讃美歌　93番  
191番

説教　「祈りによらなければ」

聖書　マルコ9章14～29節  
説教者　菊池美穂子　副牧師



## 『今日の子ども礼拝』



## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 88番 334番  
 説教 「真理があなたを自由にする」  
 聖書 ヨハネ8章31~47節(新約 P.182)  
 司式 石川 一兄  
 聖餐司式 黄允湜 牧師  
 説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「前奏曲ニ長調」J.S.バッハ

### ○讃美歌88番

- 1.過ぎにしむかしも きたる代々も  
主はわがたすけぞ わがのぞみぞ
- 2.あめつちわかれぬ 世のさきより  
かわらぬ神こそ わが神なれ
- 3.わが主のまえには いくちとせも  
みじかきひと夜の ゆめにひとし
- 4.あさ日に消えゆく つゆのごとく  
ひとみなうせさり あとだになし
- 5.あめつちうつれど とこしなえに  
うごかぬ御座こそ わがかくれが

アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「あめなるよろこび」 C.ケルー作曲

1. 天(あめ)なる喜び こよなき愛を  
携(たずさ)え降(くだ)れる わが君イエスよ  
救いの恵みを あらわに示し  
賤しきこの身に 宿らせたまえ
2. 命を与うる主よ とどまりて  
われらの心を 常(とこ)宮となし  
朝(あした)に夕べに 祈りを捧げ  
たたえの歌をば 歌わせたまえ

3. われらを新たに 創(つく)り清めて  
栄えに栄えを いや増し加え  
御国(みくに)に昇りて 御前(みまえ)に伏す日  
御顔(みかお)の光を 映(うつ)させたまえ  
アーメン

### ○讃美歌334番

- 1.いつわりの世に わかれを告げ  
罪とけがれを うちしりぞけ  
ただひたすらに われはしたう  
とわに変らぬ あまつ国を
- 2.かみの御子なる わが主イエスよ  
みむねのままに みちびきませ  
苦しみわれに せまり来とも  
みちからをもて つよめたまえ
- 3.こころのうちに 照り映ゆるは  
イエスの十字架の みひかりのみ  
み名をたたえて われ安けく  
死のおおなみを 乗りこえゆかん
- 4.み腕にすがる しもべの名を  
いのちの書に しるしたまえ  
主は真実にぞ ましませると  
あまつ国にて 我はうたわん

アーメン

聖餐曲「おお主なる神よ、汝のみ言葉は」J.S.バッハ

後奏曲「アレグレット」F.メンデルスゾーン

\* 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。